

明星大学出版部の現状と今後の在り方について

名 取 淳*

株式会社明星大学出版部(以下「本出版部」)は、1975年に設立し、45期目に入った。あと5期で半世紀である。細々ではあるが株式会社として生き延びてきている。この間に、書籍発行のあり方、必要性は変化してきた。その間に本出版部の存在意義が変化した。¹そして、今、紙の本という出版物の必要性が問われている。また、今後の明星大学(以下「本学」)が如何なる教育・研究をめざすかによっても、本出版部のあり方も違ってくる。その本学の在り方で、本出版部に大きな影響を与えるのが本学通信教育部(以下「通信教育部」)の学習方法の変革である。それは、本出版部が通信教育部の印刷教材の収益で成り立っているからである。現在は、紙の書籍を学生に配本し、自己学習の成果をレポート学習にて確認し、定期試験によって単位認定する方法である。大学通信教育設置基準の表現を使えば印刷教材により学修させる授業が、現在どのようであり、今後どのように変化するか大きなカギになる。また、大学教育というもののあり方も変化しており、その将来も印刷教材の将来を変えることとなろう。

以上の状況について、以下で、まずは出版業界の現状を主に平成の始まりから概観する。そして、ここ10年間の数値から本出版部の状況がどのように動いているかを確認する。更に、その変化に影響を与えた本学通信教育部の学生数の推移を確認する。その上で、若干の総括をしたい。それは一株式会社の過去の記録および展望であるとともに、本学のアーカイブスの一つとしたい。

1. 出版業界の現状

出版界は、本離れの中、その存在が問われている。街の書店はその姿を消していく。低迷する出版界のこの現状の中、取次企業は独占的で利益を取得してきたが、平成の初旬でピークを迎えた後、収益の下落が始まり赤字を出す取次会社が生じ、倒産や合併が進んだ。そして、有力企業の日本出版販売株式会社(以下「日販」)が赤字に耐えられなくなり、グループ会社内の組織改革を始めだし、そして出版社へ手数料の要求をはじめた。

2019年10月21日に、日販の仕入れ流通本部より、本出版部にご相談がありますと、担当者が来訪された。また、この後、中央大学出版会へ同様の説明に行ったようである。その趣旨は、1998年より収益低下が始まり、昨年度、遂にグループ全体が赤字になった。これに対して、リストラ等を進める一方で、出版会社に輸送費の負担をご理解いただきたく、各社に相談に回っているというものであった。

日販担当者が持参した書籍・雑誌の概況のデータ²を見ると、この20年間出版販売金額は低下し、1995年に比して50%まで縮小し、販売部数は34%に落ち込んだ。この間に日販の動きでは、売上高が1997年をピークに下落が続いている。ここ5年の書籍と雑誌の営業利益を見ると、次の表1の通りである。雑誌の急速な落ち込みが、出版業界を更に不況へと墜とし込んでいる。

* 株式会社明星大学出版部事務長

表1 雑誌・書籍の営業利益推移(2013～2018年度)

単位：百万円

年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
雑 誌	3,058	3,595	1,867	1,130	300	▲220
書 籍	▲4,860	▲5,310	▲4,240	▲1,941	▲2,493	▲2,225
合 計	▲1,802	▲1,715	▲2,373	▲ 811	▲2,193	▲2,445

次に、日販の「2018年度決算報告」を見ると、「日販グループの(連結子会社数25社)の2018年度決算の売上高は5,457億円。雑誌を中心とした店頭販売が落ち込み、廃業店の増加等により5.8%減、333億円の減収となりました。……親会社株主に帰属する当期純損失は2億円(対前年129.0%減)となりました³⁾と述べている。その比較表は、表2の通りである。日販単体としては赤字には至っていないがグループとしての赤字に対応するため、グループの組織編制を変え、リストラを行い、出版社へは「運賃協力金」要請している。

表2 日販グループの2018年度決算

単位：百万円

	2018年度	2017年度	前年差異	増加率
売 上 高	545,761	579,094	▲33,332	▲5.8
営 業 利 益	1,026	2,366	▲1,339	▲56.6
経 営 利 益	1,084	2,550	▲1,466	▲57.5
親会社株主に帰属する当期純利益	▲209	721	▲931	▲129.0

その他、出版業界の全般的な推移を見てみると、平成という時代は、出版の頂点と没落の時代であった。能勢仁氏の『平成出版データブック』⁴⁾により、その数値を見ると、以下の表3、表4および表5の通りである。

表3 出版物の発行部数および売上等の推移(1989年～2018年)

年	1989	1990	1991	1992	1993	1994
平成	元	2	3	4	5	6
発行部数(万部)	566,747	588,700	604,844	616,023	635,086	643,477
実売部数(万部)	430,710	448,800	454,230	463,741	476,102	475,136
実売金額(万円)	201,452,778	215,161,750	227,522,632	238,466,316	249,230,193	254,977,767
年	1995	1996	1997	1998	1999	2000
平成	7	8	9	10	11	12
発行部数(万部)	661,428	675,754	679,729	668,490	644,672	629,690
実売部数(万部)	477,935	480,180	467,501	457,959	437,171	432,109
実売金額(万円)	260,502,034	269,800,802	267,880,353	261,723,001	255,482,236	251,244,791
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006
平成	13	14	15	16	17	18
発行部数(万部)	618,234	605,186	586,802	578,515	569,566	555,106
実売部数(万部)	419,416	412,780	386,640	383,437	368,606	357,849
実売金額(万円)	275,871,467	254,800,648	231,599,715	234,819,203	229,209,064	226,278,537
年	2007	2008	2009	2010	2011	2012
平成	19	20	21	22	23	24
発行部数(万部)	550,746	532,322	498,684	471,544	444,201	430,399
実売部数(万部)	348,958	332,324	311,542	298,925	281,534	268,125
実売金額(万円)	226,278,537	212,729,189	204,094,812	280,239,570	209,760,690	183,323,704
年	2013	2014	2015	2016	2017	2018
平成	25	26	27	28	29	30
発行部数(万部)	371,522	395,354	368,655	344,182	319,716	278,017
実売部数(万部)	228,567	239,777	219,830	206,701	187,470	163,161
実売金額(万円)	177,110,206	168,916,306	150,109,931	154,567,823	144,068,168	129,210,000

明星大学出版部の現状と今後の在り方について

表4 書籍の発行部数および売上等の推移(1989年～2018年)

年	1989	1990	1991	1992	1993	1994
平成	元	2	3	4	5	6
点数	39,698	40,576	42,345	45,595	48,053	53,890
平均価格(円)	2,609	2,764	2,911	3,099	3,050	3,020
発行部数(万部)	136,648	139,381	140,078	140,358	140,498	144,853
実売部数(万部)	89,641	92,131	93,572	93,198	93,291	96,182
返品率	34.4	33.9	33.2	33.6	33.6	33.6
実売金額(万円)	79,691,149	88,944,611	92,636,388	95,807,248	99,168,237	103,396,071
年	1995	1996	1997	1998	1999	2000
平成	7	8	9	10	11	12
点数	58,310	60,462	62,336	63,023	62,621	65,065
平均価格(円)	2,977	2,941	2,992	2,905	2,916	2,963
発行部数(万部)	149,778	154,421	157,354	151,532	147,441	141,986
実売部数(万部)	96,756	99,602	96,615	90,919	88,612	86,327
返品率	35.4	35.5	38.6	40	39.9	39.2
実売金額(万円)	104,980,900	109,960,105	110,624,538	106,102,638	104,207,760	101,521,126
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006
平成	13	14	15	16	17	18
点数	71,073	74,259	75,530	77,031	78,304	77,074
平均価格(円)	2,715	1,187	1,185	1,184	1,161	1,143
発行部数(万部)	138,462	137,331	133,486	137,891	140,649	143,603
実売部数(万部)	85,015	85,282	81,559	86,457	85,092	88,315
返品率	38.6	37.9	38.9	37.3	39.5	38.5
実売金額(万円)	131,744,600	112,338,800	96,448,536	102,365,866	98,792,561	100,945,011
年	2007	2008	2009	2010	2011	2012
平成	19	20	21	22	23	24
点数	76,978	78,013	78,501	77,773	78,863	82,200
平均価格(円)	1,107	1,098	1,090	1,079	1,084	1,080
発行部数(万部)	147,480	147,038	142,333	135,501	131,165	129,066
実売部数(万部)	88,045	86,899	83,834	81,842	81,191	79,762
返品率	40.3	40.9	41.1	39.6	38.1	88.2
実売金額(万円)	100,945,011	95,415,605	91,379,209	88,308,170	88,011,190	86,143,811
年	2013	2014	2015	2016	2017	2018
平成	25	26	27	28	29	30
点数	82,589	80,954	80,048	78,113	75,412	71,661
平均価格(円)	1,072	1,084	1,095	1,105	1,120	1,164
発行部数(万部)	82,589	120,547	116,328	113,769	108,422	89,684
実売部数(万部)	51,452	74,618	72,472	71,219	68,089	57,129
返品率	37.7	38.1	37.7	37.4	37.2	36.3
実売金額(万円)	84,301,459	80,886,555	79,357,217	78,697,430	76,259,698	69,910,000

表5 雑誌の発行部数および売上等の推移(1989年～2018年)

年	1989	1990	1991	1992	1993	1994
平成	元	2	3	4	5	6
点数	3,864	3,889	3,918	3,851	3,895	4,002
平均価格(円)	357	365	374	385	392	400
発行部数(万部)	430,099	449,319	464,766	475,665	494,588	498,624
実売部数(万部)	341,069	356,759	360,658	370,543	382,811	378,954
返品率	20.7	20.6	22.4	22.1	22.6	24.0
実売金額(万円)	121,761,629	130,217,139	134,886,244	142,659,068	150,061,956	151,581,696

年	1995	1996	1997	1998	1999	2000
平成	7	8	9	10	11	12
点数	4,178	4,530	4,459	4,446	4,396	4,533
平均価格(円)	408	420	424	424	434	433
発行部数(万部)	511,650	52,333	522,375	516,958	497,231	487,704
実売部数(万部)	381,179	380,578	370,886	367,040	348,559	345,782
返品率	25.5	27.0	29.0	29.0	29.9	29.1
実売金額(万円)	155,521,134	159,840,697	157,255,770	155,620,363	151,274,576	149,723,665
年	2001	2002	2003	2004	2005	2006
平成	13	14	15	16	17	18
点数	4,447	4,417	4,515	4,549	4,581	4,540
平均価格(円)	431	435	434	446	460	465
発行部数(万部)	479,772	467,855	453,316	440,624	428,917	411,503
実売部数(万部)	334,401	327,498	305,081	296,980	283,514	269,534
返品率	30.3	30.0	32.7	32.6	33.9	34.5
実売金額(万円)	144,126,867	142,461,848	135,151,179	132,453,337	130,416,503	125,333,526
年	2007	2008	2009	2010	2011	2012
平成	19	20	21	22	23	24
点数	4,511	4,353	4,215	4,056	3,949	3,936
平均価格(円)	469	478	495	503	510	516
発行部数(万部)	403,266	385,284	356,351	336,043	313,036	301,333
実売部数(万部)	260,913	245,425	227,708	217,083	200,343	188,333
返品率	35.3	36.3	36.1	35.4	36.0	37.5
実売金額(万円)	125,333,526	117,313,584	112,715,603	191,931,400	121,749,500	97,179,893
年	2013	2014	2015	2016	2017	2018
平成	25	26	27	28	29	30
点数	3,800	3,761	3,674	3,589	3,480	2,821
平均価格(円)	524	533	548	560	568	651
発行部数(万部)	288,933	274,807	252,327	230,413	211,294	188,333
実売部数(万部)	177,115	165,159	147,358	135,482	119,381	106,032
返品率	38.7	39.9	41.6	41.2	43.5	43.7
実売金額(万円)	92,808,747	88,029,751	80,752,714	75,870,393	67,808,470	59,300,000

表3～5のそれぞれの発行部数および販売部数のピークみると、次の通りである。発行部数では、出版物全体、書籍および雑誌は、どれも1997年である。販売部数を見ると、出版物全体および書籍が1996年で、雑誌が1995年である。この時期をピークに、出版物は低落傾向が続いている。

2. 明星大学出版部の現状

出版界の不況が続く中、本出版部の10年間の収支状況⁵を見てみる。それは、表6の通りである。傾向としては、売上高が4千万前後まで低下してから落ち着いている。また純利益は第40期前後で赤字が生じているが、特に赤字傾向に向かっていることはない。

表6 明星大学出版部の10年間の収支推移(35期～44期)

営業期	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
売上高	¥56,266,929	¥75,309,518	¥71,211,269	¥44,310,219	¥43,437,936	¥43,669,395	¥37,775,722	¥44,099,637	¥40,338,655	¥44,166,624
売上原価	¥27,216,020	¥31,532,568	¥32,502,103	¥21,460,716	¥19,805,659	¥27,757,520	¥18,530,877	¥22,379,109	¥19,908,070	¥23,075,585
売上総利益	¥29,050,909	¥43,776,950	¥38,709,166	¥22,849,503	¥23,632,277	¥15,911,875	¥19,244,845	¥21,720,528	¥20,430,585	¥21,091,039
人件費	¥4,542,161	¥6,736,559	¥6,912,916	¥13,374,961	¥12,710,976	¥11,480,446	¥8,981,957	¥6,449,113	¥5,280,000	¥5,948,000
寄付金	¥1,000,000	¥5,000,000	¥2,600,000	¥2,600,000	¥2,600,000	¥3,000,000	¥3,600,000	¥2,600,000	¥2,600,000	¥2,600,000
販管費	¥13,306,123	¥31,532,568	¥22,669,939	¥26,397,849	¥25,094,037	¥24,370,729	¥22,172,025	¥19,226,457	¥18,278,740	¥16,539,809
営業利益	¥15,744,786	¥19,857,423	¥16,039,227	¥-3,548,346	¥-1,461,760	¥-8,458,854	¥-2,927,180	¥2,494,071	¥2,151,845	¥4,551,230
営業外収益	¥16,036,259	¥23,919,527	¥24,737	¥19,828	¥3,534,748	¥21,532	¥22,612	¥10,505	¥12,799	¥10,464

明星大学出版部の現状と今後の在り方について

経常利益		¥23,963,518	¥16,063,964	-¥3,528,518	¥860,941	-¥9,374,083	-¥4,008,829	¥1,830,601	¥329,053	¥2,348,106
	16,036,259									
純利益	¥11,287,859	¥14,970,088	¥10,709,664	-¥3,458,818	¥494,741	-¥9,557,555	-¥4,191,126	¥1,649,693	¥148,145	¥1,984,998
備考 明星大学出版部の年度期間 第35期 1999年7月1日～2010年6月30日、第36期 2010年7月1日～2011年6月30日、第37期 2011年7月1日～2012年6月30日、 第38期 2012年7月1日～2013年6月30日、第39期 2013年7月1日～2014年6月30日、第40期 2014年7月1日～2015年6月30日、 第41期 2015年7月1日～2016年6月30日、第42期 2016年7月1日～2017年6月30日、第43期 2017年7月1日～2018年6月30日、 第44期 2018年7月1日～2019年6月30日										

次に、本出版部の損益の内訳を第44期および第43期(注5)で見してみる。それは、表7の通りである。そこには、売上先の傾向と経費の特徴を見ることができる。売り上げにおいては、明星関係(学校法人明星学苑の購入)および紀伊國屋(通学課程教科書)が90%ほどを占めている。販売費・一般管理費の支出高の上位は、人件費、寄付金、業務委託費、事務委託費、地代家賃および広告宣伝費である。その他、商品廃棄損が支出への影響が大きい。

表7 明星大学出版部第44期

勘定項目	第44期	第43期	備考
【売上高計】	44,166,624	40,338,655	
トーハン	1,391,578	1,136,985	
日販	1,809,800	2,211,156	
明星関係	33,934,316	31,325,365	通信教育部教科書、『自立と体験1』
紀伊國屋	6,051,942	5,401,328	通学課程教科書
一般	709,521	159,457	
アマゾン	264,348	102,960	
【売上原価計】	23,075,585	19,908,070	
【販売費・一般管理費計】	16,539,809	18,278,740	
人件費計	5,948,000	5,280,000	
広告宣伝費	643,198	1,122,738	
地代家賃	1,425,600	1,425,600	
業務委託費	430,650	2,724,000	編集業務
事務委託費	2,410,560	2,410,560	事務、営業、在庫管理等
寄付金	2,600,000	2,600,000	明星大学奨学金
【商品廃棄損】	2,213,588	1,835,591	

3. 学校との注文販売

第44期の収益の内訳を確認したとおり、本出版部の収益の多くが本学の教育学部や教職課程の教科書としての利用にある。また、全学共通科目(必修科目)の『自立と体験1』にある。それを次に見てみる。この数値は特に、通信教育部の学生数に影響される。最近10年間の通信教育部の学生数⁶を確認すると、表8の通りである。この10年間で、在学学生数は2,000人以上減少し、入学者数は700人以上減少している。本出版部の売上高の低下傾向はこの学生数の減少が大きく影響していると考えられる。

表8 明星大学通信教育部の学生数推移(2009年度～2018年度)

出版部期	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
平成	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
西暦	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
入学者数(正科生のみ)	2,364	2,399	2,138	1,970	2,120	1,938	1,874	1,778	1,632	1,591
在学者数(正科生のみ)	6,870	6,566	6,365	5,507	5,485	5,470	5,196	4,867	4,816	4,517

その他に明星学苑に販売しているものとしては、『自立と体験1』である。これは初年次教育必修科目ゆえ、新1年生全員に大学から学生に与えている教材である。通学課程入学者は、定員プラス若干の人数であるため、毎年2,500冊ほどを販売している。継続してこの学生数を維持していれば、いつまでも2,500冊売れて行くわけではない。教育方針の変更があれば、この収入減は途絶える。

通学課程の授業の教科書や参考文献等はブックセンター（紀伊國屋書店）で販売されている。これも、永続的なものではない。新しい教科書を作るのは、通学課程の1科目に対する履修者数が、1,000件を超えること全学共通教育科目だけであり、採算が難しいのが実情である。⁷

4. おわりに

本出版部の将来は、現状のままでは、顧客の需要は低下して行くだけである。書籍離れにより日本の出版界の低迷は続く傾向にある。また、紙離れは間違いなく進むであろう。ある一方では、学術書籍のようなものは、書籍の情報量が多く電子書籍に向かないと言う考えもある。しかし、教科書類は電子化が進む。既にいくつかの通信制大学ではタブレット端末を学生に渡しての授業は始まっている。本学通信教育部の経費削減対策としてその検討は始まっている。現代社会はタブレット端末の利用が生活の一部になっており、印刷教材の電子化は避けられない現実である。

もし、印刷教材の利用が残るとなると、それは注文式での販売となろう。冊数が少なければ、オンデマンド印刷での対応となり、オフセット印刷のような大量生産の時代は終わるであろう。また、電子媒体の利用は、視覚や聴覚の不自由な学習者への対応が考えられる。電子情報のデータを音声や点字等に变化することがより可能となろう。読書バリアフリー法を受けて、学校と協力して準備して行くことが求められる。電子化およびオンデマンド印刷の利用は、取次のトーハンや日販といった仲卸業者を媒介しない流通方法を模索する必要となる。それがアマゾンになるのか、他の方法も充実させるか、今後の検討事項である。

このように書籍と大学との関係は変わる時期に来ている。12世紀末に大学の誕生とともに書籍取引は密接な関係にあった。それは紙を中心として始まり現在も続いているが、情報源のあり方は変わって来ていることは逃れられない事実である。学術論文は、電子媒体にてグローバルに周知していくことが進んでいる。教科書もその波の中で、電子化は避けられない。紙の書籍を更新し版を重ねることは経費と時間のかかる作業である。学生は重く経費のかかるテキストの授業を避ける。そのために、教科書は低廉に作られるために、内容の少ないものとなる。これを解決するためにも、電子版の教科書を基本として、内容の多く、上級学年の教科書としても耐えられ、情報を更新していくことが望まれる。

教科書を電子化することで教科書作成の常識も変わる。これまで販売部数の壁があり、選択科目の教科書作成は避けられてきたが、この壁がなくなる。電子化やオンデマンド印刷が多様性に応え、また更新が素早くなる。多くの科目の担当教員に積極的に教科書電子化に協力いただき、本出版社の利益を少しでも上げることで、株主である学校法人明星学苑への配当および奨学金への寄付を充実することができる。

明星大学として、通信教育部の経費が嵩む書籍教材を如何に抑えるかが課題となっており、そのためにも速やかな電子教材への移行が重要である。それに対応するために本出版部がどのように態勢にして行くか。そして、利益を出しながら寄付金をして行くか。主となる販売先であり株主である学校法人明星学苑と、本出版部の在り方の検討が必要である。

注

- 1 名取淳『明星大学出版部の設立の趣旨と現状』（明星大学明星教育センター研究紀要第8号、2018年3月、明星大学明星教育センター明星教育研究委員会編）。

- 2 日本出版販売株式会社仕入れ流通本部「書籍・雑誌の適正流通を目指して 2019年10月」。
- 3 「NIPPAN 2018年度決算報告」2019年5月29日、日本出版販売株式会社。
- 4 能勢仁『平成出版データブック』2019年10月、ミネルヴァ書房。
- 5 株式会社明星大学出版部定時株主総会資料より作成。
- 6 「大学通信教育実態調査」(私立大学通信教育協会)より作成。
- 7 本出版部は株式会社であるゆえに利益を重視しているが、本学の学生が負担なく教科書を購入するために、2,000円(税抜、以下同様)以内の定価設定となるように努力している。その条件で本出版部の教科書の多くがA5サイズで200ページ前後の書籍である。これを初版の場合、印刷数を600部とするとその1冊の原価が1,100円ほどである。1,200部であると650円であり、1,800部になると460円である。これを販売する場合、定価に対して原価が35%以内でないと収益は出ず、会社は赤字になる基準である。すなわち、650円の原価となる1,200部以上の印刷をしないと、会社経営が成り立たず、本出版部はこのバランスで、若干の黒字を残しているのが現状である。